

文京のがくどうほいく



第41回区連協大運動会が開催されました

5月6日(日) 9:30~14:10 小石川運動場



今年も暑い日差しの青空の下、小石川運動場に15育成室1040名(子ども515名)が、参加して大いに運動会を楽しみました。当日は、成澤区長、山崎教育推進部長、高橋係長が来賓として来場しました。全父母会で運営するスタイルに移行して4年目、本番前の

実行委員会も初めて2回で臨みました。実行委員の皆さんと当日スタッフとして携わってくださった皆さんの見事な連携で、スムーズな競技進行、予定時間も大幅に短縮できて無事開催することができました。身体を動かすと同時に、父母会内の親睦を図るに相応しい行事として、来年も楽しく円滑に運営できるよう今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

子ども・子育て会議 報告

文京区学童保育連絡協議会
文京区子ども・子育て会議委員
三井 望

平成29年度の子ども子育て会議は、本年1月16日に開催された第三回で全日程が終わりました。

平成27年度から計画された、5か年分の子ども・子育て支援事業計画も3年が経過したことになります。(平成もあと1年足らずで改元の予定ですが、文中便宜上、平成で表記させていただきます。ご容赦下さい。)

1. 平成29年度の大きなトピック

- (1) 平成27年からの5年間で育成室8室増の予定でしたが、当初の想定以上に育成室ニーズが積み上がり、2室開設数を増やし5年で10室増に計画変更されました。(31年度に2室開設予定)
- (2) 区が育成室を設置する際の数値の根拠となる、育成室の利用率の設定について、29年度の実際の利用率から32年度まで毎年0.6%増加させて育成室の想定利用数を算出することになりました。
 - 29年は30.8%の利用率、32年度は32.6%に設定
 - 28年度の萩原委員が会議にて潜在的な利用意向が反映されなくなっている旨指摘され、それを受けて今年度変更されました。

上記2つで、来年度の育成室増の明文化と、32年度まで利用率増加を見込んでのニーズ数の計算が担保されました。

2. 今後注視すべき点

以下、保護者全体で継続的に注視すべき重要な点と考えます。

- (1) 未就学児童数の推移
- (2) 育成室/保育園の利用率の推移
 - 上記2つを注視し、大きく上振れする際には適切なタイミングでの育成室整備増を要望し、待機となるお子さんが一人でも少なくなる働きかけを継続していく必要があります。
- (3) 育成室の質の在り方
 - 従来の公設公営だけでなく、運営が多様化する状況下、育成室の質の在り方はぶれずに考えていく必要を感じております。例えば31年に整備予定の音羽育成室は賃借物件に設置される初のケースとなります。育成室で実際に子どもたちが伸び伸びと生活していけるように注視し、区とかみ合った対話をする必要があります。
- (4) 育成室の保育料の在り方
 - 上記ですが、会議での区の報告は「幼児教育の無償化の動向を踏まえ、無償化との関係を整理しながら保育料のあり方について検討を進める。」となっております。国の政策に左右される部分でもありますが育成室の保育料もこの議論に影響をうけます。

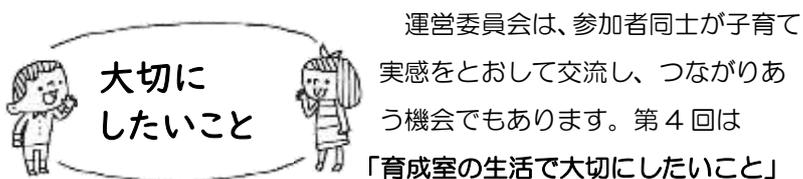
今後とも、よりよい育成室のために保護者全体で関心をもち、区連協の活動にご協力いただきたくお願いいたします。

★第4回 運営委員会報告★

4月22日(日)10時より区民センター会議室3-Cにて第4回運営委員会が開催されました。

- 1、課長面談報告** 4月20日(金)に児童青少年課中島課長へ施設要望書を提出しました。情報共有では、都型学童クラブの状況や今年度入室状況について話をうかがっています。待機児童は4月時点で21名。今年度から要配慮児枠が撤廃となりましたが、要配慮児やフルタイム家庭の待機はないとのことでした。一方、保育園では平成31年までの4年間で2600人増枠を予定。保育園児数が育成室に移行してくると考えた時に、今の育成室では受け入れが足りません。待機児童解消については、引き続き育成室増室での要望をお願いしています。
- 2、急な議事として、現在の学童保育の基準である「2名以上の有資格者の配置」が廃止または参酌化される可能性があり、それを阻止するための署名活動を役員からお願いしました。国会審議に間に合わせるために5月中に取りまとめ、超党派を通して全国学童保育連絡協議会から請願します。**
- 3、ぶんこうけん** 実行委員長 三田さん(千石)ほか2名からの報告。2月25日(日)に文京区立第三中学校にて開催しました。ぶんこうけんとは、数年前は区連協行事で、育成室に関わる「それって何?」を勉強し交流する会です。今年度は文京区の後援を得て、有志で開催をしています。来年も開催しますので、参加者および実行委員を募集しています。
- 4、その他** 区連協役員について2名参加の意向をいただきました。引き続き役員募集しています
 - **総会議案書**について。活動報告と今後のスケジュールの確認をお願いしました。
第43回総会 6月8日(金)19時～/男女平等センター研修室A
会長会 6月17日(日)10時アカデミー文京 学習室
第1回運営委員会 7月6日(金)19時～シビックセンター4階和室
 - お弁当、キャンプ、おやつ代、父母会費、連絡ツール等の**Webアンケート**を実施します。
 - 個人情報の取り扱いについて、プライバシーポリシーを策定予定です。

お問い合わせは、
役員会連絡先
bunkyo.renkyo@gmail.com
をお願いします。



運営委員会は、参加者同士が子育て実感をとおして交流し、つながりあう機会でもあります。第4回は「育成室の生活で大切にしたいこと」

をテーマに、本郷第二育成室の早乙女先生にお話をお願いしました。参加者の皆さんにも、わが育成室のすばらしいところ、大切にしたいところについて、たくさんの温かい発言をいただきました。語り切れませんが、早乙女先生のお話から、ほんの一部ご紹介します。関心のある方は、これからの運営委員会に是非ご参加ください。

- いろんな子がいて、行動のはやい子・遅い子がいる。遅い子は、きっと学校や家庭で「早くしなさい」と言われている。育成室は放課後の生活の場だから、「ここではゆっくりしていいんだよ」とその子のペースを守っている。どの子も「自分の持ち味」があって、その個性の種が、伸びてゆく姿を想像し、理解し、受け止められる指導員でありたいと思います。
- 最近、困った子は困っている子とよく言われます。不思議なもので、「あの子は困っているんだよね」と思うと、早く帰ってきてほしい、励まし支えたいと思う。見つめ方一つで、目の前の子が変わる。その子自身も周りがどう思っているかわかって、解決したいと思っている。子どもと関わる上で、話をよく聞く、子ども同士の気持ちをつなぐ、失敗を許しあえる、約束を守れる大人であることを大事に思っています。

掲示板

通称「都研」。
「ぶんこうけん」
の東京版です。

第47回 東京の学童保育研究集会

つながりあって 共につくろう豊かな放課後

開催日: 2018年7月1日(日) 9時30分

会場: 東京都立 国際高等学校

(京王井の頭線:駒場東大前駅)

◆午前中 記念講演◆

講師 飛鳥井 祐貴さん

(神奈川県横須賀市指導員会会長)

テーマは、「学童保育にとって大切にしたいこと」。指導員と子どもの関係や、指導員と保護者とのつながり、地域の中で保護者または大人同士がつながること、なぜ子どもにとって遊びが大事なのか、等の話をさせていただきます。

◆午後 10分科会 講座と交流◆

※参加費:2,000円/お弁当(600円)・保育(400円)を希望される方は、6月14日(木)までに申し込みをお願いします。

東京の学童保育研究集会(FB)で検索!

@tokenshuukai (Twitter)

主催:東京都学童保育連絡協議会

後援:東京都/目黒区